（令和４年度～令和６年度）

# 第９次中期計画進捗管理表

# 令和５年度　実践項目

当組合は、組合員・地域にとことん寄り添って、“親しみのあるサービス”とこれまでになかった“新たな取り組み”に挑戦しています。そして、地域とともに一歩踏みだし、“心のおつきあい”を更に深化させ、これからの未来を拓いてまいります。

本計画の進捗状況をここに開示し、当組合の経営理念である「あったか～い、心のおつきあい。」を役職員一丸となって実践し、組織活動及び事業運営に努めていく所存です。今後ともご理解・ご支援をお願いします。

## 『地域とともに拓く　これからの未来』

## ～　一歩踏みだすおつきあい　～

令和５年度の達成状況

評価期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

| 【　基　本　方　針　】 | 達成度 | 項目数 |
|---|---|---|
| （１）活力ある地域農業の振興を通じた農家所得の向上 | 72.1% | 5 |
| （２）多様なニーズに適応した総合サービスの提供 | 90.1% | 11 |
| （３）持続可能な組織・経営基盤の確立・強化 | 91.3% | 6 |
| 第９次中期計画　全体 | **86.3%** | 22 |

# 令和５年度　事業別戦略

（１）営農経済事業

| 事業方針 | 地域農業の活性化に向け、激しい環境変化に対応した体制整備と新たな事業展開に取り組みます。<br>　また、地域の維持・発展に向け、農業が持つ役割の理解促進により、「農業関係人口」の増加を図ります。 |
|---|---|

| 組合員へ提供すること | | 【達成指標】 | 実績値<br>／<br>期間進捗率 | 総　括 |
|---|---|---|---|---|
| 営農１ | 農業経営基盤強化にかかる支援実施 | ７品目生産量<br>①果樹・野菜<br>304トン増加<br>②花木<br>63千本増加 | 74トン<br>増加<br>23.3千本<br>増加<br>30.6% | 果樹は、高温乾燥・少雨による小玉果並びに裂果等による減収となりました。対策として高温乾燥の影響による反収減防止に向けた、樹勢回復対策の支援を実施しました。里芋は、天候不順で初期生育不良による反収減、きゅうりは、生産量が減ったものの、販売単価が良く販売高は数年ぶりに２億円を越えました。花木は、出荷量の増加によって、コンソーシアム事業の目標2,500万円を達成し事業完了となりました。 |
| 営農２ | 品目別生産部会の生産規模拡大 | ７品目<br>作付面積<br>12ha増加 | 6.6ha<br>55.0% | きゅうり・里芋・花木は新規生産者が10名増加しましたが、高齢化に伴う、離農増加の課題が残っています。柑橘は無償苗木配布後の生育が進み、数量が増えていく見込みです。きゅうり・甘長・果樹は単価が良く安定し始めているため、新規栽培者に選ばれる品目として期待されます。紅まどんなの安定した販売が継続しているので、天候に左右されない品質確保に向け、引き続き施設化を推進します。 |
| 営農３ | 販売高維持向上に向けた体制整備 | 新規販売企画<br>５企画実施<br>（１億円） | 201,639<br>千円<br>100.0% | 今治市と連携したふるさと納税返礼品（柑橘）等の販売が拡大し、販売金額201,639千円の結果となりました。また、おちいまばりブランドの販売力強化に向けて販売手数料の見直しを検討しています。併せて、流通コスト高騰や量産型柑橘の生産量減少に対応するため柑橘共同選果場運営の見直しを進めます。 |
| 営農４ | 農業資材の地域最安値設定 | 10品目 | 10品目<br>100.0% | 石灰窒素（輸入）・美味シート・水稲苗について価格高騰前の価格で据え置き、農家土づくり支援として、農産物出荷者に対して苦土石灰（粒）・美土里の無料配布を実施しました。市場価格調査をし、化成肥料の値引き、農薬は値上げ傾向の中、ラウンドアップの値下げおよびマシン油類の価格を据え置きました。また、柑橘樹勢回復対策として、尿素の値引きを実施しました。 |
| 営農５ | ＪＡオリジナル特典の実施 | ４エリア実施 | ３エリア<br>75.0% | 店舗集約に伴い、試験的に営業時間外引渡しの実施をはじめました。利用状況を確認しながら、新たな利用者案内を提案していきます。また、全エリアでの人口減少傾向や営業時間設定について、地域のニーズに併せた施設の有効活用の検討を進めています。 |

| 営農部門<br>達成度 | 72.1% ／ 最大<br>100% |
|---|---|

# 令和５年度　事業別戦略

（２）　金融事業

| 事業方針 | 農業・農地・資金・保障等を含めた、組合員・利用者の大切な財産や資産を運用・形成し、次世代へ継承することをＪＡ金融事業の使命とし、皆さまのお役に立つための事業運営体制の見直しと、一人ひとりに適したアドバイスを行うことのできる人財を創造することで、これからは『人が拠点』として、何でもＪＡにお任せいただけるサポート態勢を充実させます。 |
|---|---|

| 組合員へ提供すること | | 【達成指標】 | 実績値 / 期間進捗率 | 総　括 |
|---|---|---|---|---|
| 金融1 | きめ細やかなサービスによる組合員の資産運用・形成 | 金融業務粗利益 3,120百万円 | 3,119百万円 / 99.9% | 組合員・利用者の大切な財産の資産運用・形成のための提案活動と「共済３Ｑ活動」を通じてライフイベント及びニーズに応じた保障提案を実践し、「安心」・「満足」できる金融サービス提供に取り組んでいます。 |
| 金融2 | 相談機能の強化による更なるサポート活動の充実 | 訪問・相談件数 36,500件 | 35,674件 / 97.7% | ３Ｑ活動、農家訪問、年金振込先訪問、住宅ローン感謝訪問等を継続実施しています。総合的な相談に対応できる担当者を育成するため、知識習得・ロールプレイング・管理者同行の徹底に併せ、各種相談会・セミナーの実施も継続いたします。 |
| 金融3 | 多様な接点の拡充による快適で便利な暮らしの提供 | 非対面チャネル新規登録数 3,000件（R4から6,000件）（R4からの累積 5,162件） | 3,593件 / 100.0% | 非対面チャネルの重要性の浸透を図り、組合員・利用者へ利便性を伝え、登録数の増加が図れました。引き続き、Ａコープ・給油所・直売所などでイベントを開催し、ニューパートナー拡大や次世代の囲い込みを強化していきます |
| 金融4 | 業務ウェイトの「事務」から「組合員サービス」への転換 | 渉外職員割合 32% | 31.3% / 97.8% | 融資・投信・共済の事務について、会議体及び臨店で指導しています。渉外担当者の事務負担を軽減し、出向く体制を強化することで、組合員・利用者の皆さまへ安心を提供できるよう実行していきます。 |
| 金融5 | 何でもＪＡにお任せいただける人財の創造 | 国家資格取得者数 10人増加（R4から20人増加）（R4からの累積 17人） | 7人 / 70.0% | エリア及び支店単位での会議、ミーティング及び勉強会を実施しました。FP2級5名・FP3級1名・宅地建物取引士1名が合格いたしました。取得した知識を現場で活かせるように取り組んでまいります。 |

| 金融部門達成度 | 93.1% / 最大100% |
|---|---|

# 令和５年度　事業別戦略

（３）　生活福祉事業

| 事業方針 | ＪＡ版地域包括ケアシステムを構築し、生活機能の維持・回復ができるよう自立支援型のサービス提供を重点に、住み慣れた地域で安心して暮らせる豊かな地域社会づくりをめざします。 |
|---|---|

| 組合員へ提供すること | | 【達成指標】 | 実績値<br>／<br>期間進捗率 | 総　括 |
|---|---|---|---|---|
| 福祉１ | 職種別の人財育成による満足度の高いサービスの提供 | 月平均<br>利用者数<br>500人 | 361人<br>72.2% | 各種ミーティングを定期的に実施し、感染症、虐待防止、ＢＣＰ等について情報共有しました。また、国家資格及び専門資格を４名が取得し専門性の高い人財の育成を進めています。 |
| 福祉２ | 利用者の自立支援に資する質の高いサービス提供による事業経営 | 月額介護報酬<br>3,100万円 | 2,493万円<br>80.4% | 科学的介護推進体制加算の評価データを基により良い介護サービスに努めました。今後も評価データをケアマネージャーと共有して自立支援型のサービス提供に努めます。 |
| 福祉３ | 地域と協力して活動できる体制の構築 | 訓練実施 | 2回<br>100.0% | 文化祭やイベント参加等、地域との関りも再開しました。また、運営推進会議で地域行事、各種イベント情報を共有して、より地域との関わりを深めています。 |

| 福祉部門<br>達成度 | 84.2% ／ 最大<br>100% |
|---|---|

# 令和５年度　事業別戦略

（４）　管理部門

| 事業方針 | 組合員との対話運動を通じて新たな意思反映体制を構築します。また、地域の持続的発展を支える組織であり続けるために、財務基盤の確保及び内部統制の強化に取り組みます。 |
|---|---|

| 組合員へ提供すること | | 【達成指標】 | 実績値 / 期間進捗率 | 総　括 |
|---|---|---|---|---|
| 管理1 | 組合員の意思反映や運営参画の機会を提供 | 多様な接点による対話回数 175回 | 350回<br>100.0% | リニューアルしたＨＰのお問合せコーナーでご意見・ご要望を多数頂き対応しました。ＪＡおちいまばりＬＩＮＥ公式アカウントの友だち登録者数が約1,780人となっています。登録者に対して実施したアンケートにおいて要望の多かったＡコープチラシの配信などに対応しました。今後も様々なツールを利用して情報提供・収集を行い、組合員・利用者の意思反映に繋げます。 |
| 管理2 | 働き世代を見据えた仲間づくり | 60歳未満の組合員800人増加（R4から1600人増加）<br>（R4からの累積935人） | 516人<br>64.5% | 共済に加入していただいている方のうち、組合員未加入の方に対して、組合員加入促進運動を実施した結果、約170名の方に組合員に加入していただき、共済員外利用率も改善しました。今後も各部門と連携し、組合員加入促進運動を展開します。 |
| 管理3 | 財務基盤の安定化に向けた自己資本比率の維持 | 自己資本比率12%以上 | 14.94%<br>100.0% | 安定経営の指標となる自己資本比率について、変動要因となる項目の数値を関係部署と共有し四半期ごとに、自己資本比率を把握して目標の比率を確保しました。引き続き総資本の圧縮と自己資本の増加の両面から変動要因となる項目の推移を注視し、目標の自己資本比率を維持します。また、将来の事業環境を踏まえて、安定した事業利益を確保するべく、長期計画書（５か年）を作成しました。 |
| 管理4 | 協同の理念を体現し、長期に亘り地域に貢献することで、組合員の負託に応える職員の育成 | 勤務年数３年以内における職員の定着率90%以上 | 75.0%<br>83.3% | 今年度、下半期より実施したメンター制度の導入により、新入職員と先輩職員が話し合うこと、お互いが意見を出し合うことで、今まで以上の信頼関係が構築できました。引き続き、管理者をはじめ職員へ導入目的の理解、また心構えや基礎知識等を身に付けてもらうため、外部講師と連携のもと、カリキュラムに取り組みます。 |
| 管理5 | 内部統制・コンプライアンス態勢の強化 | 実施進捗率100% | 100.0%<br>100.0% | 内部統制強化について、各部署が規程類の改廃権限委譲、公正な与信の審査と債務者の区分判定、決算担当者説明会の実施に取り組みました。また、監査室が、監事、会計監査人との連携及び内部監査を通じて内部統制整備と運用について検証を行いました。**コンプライアンス統括室では、災害発生時などに対応した事業継続体制の確立に取り組むとともに、不祥事未然防止策についても計画に沿った取り組みを行いましたが、不祥事の発生を受け、第三者委員会を設置し、関係機関の指導のもと再発防止策を策定しました。** |

| 管理部門達成度 | 89.6% / 最大100% |
|---|---|

# 令和５年度　事業別戦略

（５）　株式会社ジェイエイ越智今治

| 事業方針 | 多様化するニーズに適応し、ライフライン機能の維持発展を図り、組合員・利用者の皆さまの豊かな暮らしをサポートします。 |
|---|---|

| 組合員へ提供すること | | 【達成指標】 | 実績値<br>／<br>期間進捗率 | 総　括 |
|---|---|---|---|---|
| ＫＫ１ | 【店舗】<br>ＪＡらしい店舗づくりによる安心して利用できるサービスの提供 | 全店舗(計)<br>1日平均利用者数<br>630人 | 574人<br>91.1% | 全店統一のキャンペーンや地域色をアピールしたフェア等を実施し集客を図りました。今後も、生鮮部門の強化に取り組み、ＪＡらしい店舗づくりに努めます。 |
| ＫＫ２ | 【葬祭】<br>ＪＡ葬祭を安心して選んでいただける情報の提供 | 新規ルミエール会員120人増加<br>(R4から240人増加)<br>(R4からの累積218件) | 111人<br>92.5% | ＪＡ等の会議に出席し、会員特典の説明を行いました。また、ホームページの見直しを行い、情報発信による認知度向上をめざしました。今後も、安心して選んでいただけるよう、事前相談の充実を図るとともに、担当者の育成強化に取り組みます。 |
| ＫＫ３ | 【自動車】<br>組合員・利用者に信頼されるサービスの提供 | 新規車検<br>実施台数<br>215台 | 192台<br>89.3% | 新規車検について、職員利用や紹介等により推進に取り組みましたが、思うような入庫とはなりませんでした。引き続き、お客様感謝デーを開催するなど事業のＰＲを行い、販売台数と車検台数の確保に取り組みます。 |
| ＫＫ４ | 【ＬＰガス】<br>無線通信による集中監視システムを構築し、安全で安心な保安サービスの提供 | ふれあい訪問<br>活動実施戸数<br>年間500戸 | 570戸<br>100.0% | ふれあい訪問活動やパンフレットなどによる周知活動を行い、燃料転換や衣類乾燥機の設置に結びつきました。今後も、保安機器の期限内交換を実施するなど、安全で安心な保安サービスの提供を行います。 |

| ＫＫ部門<br>達成度 | 93.2% ／ 最大<br>100% |
|---|---|